

自分の願いや思いを実現する自分タイムの学習

加藤 潔 己

1 はじめに

本校の「総合的な学習」は、子ども達の実態をふまえ、「自立」に向かうための教育課程の一つとして構想したものである。この「総合的な学習」は、「分化の教育」に対するものであり、これまでの教科や領域の枠組みを越えたものである。さらに「学習」そのものについても、視点の変換を求めるものであり、生涯学習の視点に立ったものである。

しかし、何より、「自分タイム」の学習は、子ども達が自分から求める学習であり、子ども達が楽しみにできる魅力あるものでなくてはならないと考えている。

2 実践事例

(1) 学級の実態

本学級の子ども達は、明るく活動的であり、それぞれ自分の思いを自分なりの方法で工夫して、実現していこうとする姿がよく見られる。特に、国語科、図画工作科、音楽科等の教科の中でも顕著である。また、友達と協力して調べたり、製作したりすることも好きである。教科の枠を越えた自分タイムでの、自分の願いや思いについては、その自由度が大きいために当初、「何をしたらよいか」「何ができそうなのか」、「自分は本当は何がしたいのか」について戸惑うことも充分予想される。

オリエンテーション直後の「やってみたいこと」の思いは、確定したものではなく、活動の見通しも持ちにくい状態であろう。

(2) 指導にあたって

上述の子ども達の実態をうけ、まずは、やってみるうちに「本当に自分がしたいこと」を見つけることも認めていくことを大切にしたい。12時間の中で、計画の変更もあり得る。ただし、その場その場を楽しんで終わるということにならないように、毎回の活動のふりかえりを大切にすることで、本当に自分のやりたい課題を見つけ、見通しを持って取り組むことができるように支援したい。今回の単元は、たとえ子ども達が失敗したり、満足できる結果が出なかったりしても、次の単元に生かすことのできるようにふりかえりを積み上げていくことを励ましたい。また、子ども達の興味・関心からの出発を大切にするとともに支援者の持ち味を生かすために、学級の枠を越えたチームティーチングによって支援をしていきたい。

(3) オリエンテーション

5学年1組、2組、合同でのオリエンテーションを設定した。まずは、子ども達が自分タイムに魅力を感じることができるよう意欲づけを図った。「自分のしたいテーマで、今まで学習したいろいろな力を使って、思う存分に、調べたり、作ったり、表現したりして行こう」と提案した。

本年度は「自分タイム」設定の初年度なので、前年度までの事例を参考例として提示するとういことはできないが、他の総合的な学習「人間」「自然」「コンピューター活用」や、総合的な学習と学校行事「宿泊学習」「海の学習」「山の学習」「旅の学習」などの概要を説明し、自分タイムの活動日程を示した。

また、オリエンテーションプリントを配布し、助力の教師、活動時間、活動場所、そして活動する上での約束ごとを説明した。次に、一人ひとりの活動計画書の記入となる。

オリエンテーションプリント

自分タイム全体計画書

自分の願いや思いをかなえていく自分タイム

自分タイムを進めるにあたって
5年2組 名前()

自分のしたいテーマで、今まで学習したいろいろな力を活かし、思う存分に調べたり、製作したりするなどして、活動の経緯を友達に発表しよう。

- 活動例
 - 研究していく自由調べ (知りたいことや不思議に思っていることをもとにして)
 - 何かを作る自由製作 (頭の中にあるイメージを大切に)
 - その他の自由活動 (今まで学校や家でできにくかったことに挑戦して)
- 主なお助け先生 (加藤先生、松田先生、山中先生、豊先生、宮本先生)
- 活動時間 1~2時間程度の予定。(土曜日の2校時と火曜日の5校時を中心に)
休校期間でも活動できる場合がある。
- 活動場所 教室・図書室・理科室・図工室・音楽室・コンピュータールーム・運動場等
(時間割や使用人数との関係で使用できない場合もある。事前の計画を重視)
- 活動するうえでの大切なこと
 - 友達の話に気をつけ、自分で決めることを大切にすること
 - 全体の時間の使い方を考え、計画を立てて見直しをもって活動すること
 - 毎時間自分の活動をふりかえり、次の時間のめあてをつくること
 - 計画を詳しくしたり、修正したりして自分のしたい活動を明らかにすること
 - 自分の活動をどんな方法で表現するのがよいかを考えて活動すること

- 活動内容・テーマ (どんな活動してみたいですか、)
プロ野球関連の自由調べ(おもしろい)
- 活動の動機 (なぜ、その活動にしたり、そのテーマを選んだりしたのですか、)
プロ野球のことなどに興味があるから
- 活動の方法と場所 (どんな方法で、どの場所、で活動を進めていきますか、)
おもしろい教室を中心にしてできればコンピュータールームを使う
- まとめ方・表現方法 (活動の結果をどんな方法で友達に伝えたいですか、)
紙(シート)などに調べたことを書いてパソコンを使って印刷したものをはりつけてまとめる方法

時間をかけて自分の願いやおもいをはっきりさせていきましょう。
しっかりねればなるほど、活動してよかったと思えるようになるよ。

(4) 活動計画

支 援	課題づくり 学習への見通し	活 動 展 開			ふり回り (発表・展示)
		活動内容・テーマ	経路	活動の様子	
・活動の参考になるように、行事や教科との関連を説明する。 ・時間配分、まとめ方等、個別に支援する。 ・自分タイム計画表、ふりかえり表の記述により、子ども達の動きを把握する。 ・活動に戸惑っている子どもにはしっかり話を聞き、思いを整理できるようにする。 ・各教科・領域で連絡を取りながら、子どもの活動の場づくりをする。 ・調べ方、表現の仕方、まとめ方の工夫している点について相互評価できるようにする。 ・成就感・達成感を味わい次への活動の意欲を高めるために、自己評価の場を設ける。 ・評価の観点として次の点をあげる。 ・課題設定の仕方 ・解決の方法 ・計画の立て方 ・まとめ方 ・内容	オリエンテーション ・活動内容・テーマを決める ・学習計画を立てる	作る活動 ・料理づくり ・マフラーづくり ・刺しゅうづくり	家 図 庭 工 科 室 室 5の2 教室 音楽室 図書室	・自分のオリジナルメニュー ・マフラー、刺しゅうの技法調べ ・製作 ・図書室の本で調べる	・まとめる ・メニューをまとめる ・写真に残す ・作品展示
	その他の活動 ・飼育 ・学校探検	・宇宙 ・最近のニュース ・野球 ・プロ野球 ・歴史 ・音楽 ・学校 ・中学校、塾 ・映画 ・インターネット ・ポケモン	5の2 教室 音楽室 図書室	・いろいろな先生に聞いて調べる	
	5の2教室 校舎内、運動場	コンピュータールーム	・コンピュータのインターネットで調べる		
	・観察記録をつける ・学校の歴史を調べる ・いろいろな場所や先生に取材する				
	・まとめる ・冊子にまとめる ・文章で ・絵や図で ・写真で	・まとめる ・冊子にまとめる ・文章で ・絵や図で ・写真で			来年度の自分タイムの活用の仕方を考える

活動計画一覧表（5年2組）※表中の「PA」は、パソコンルーム「インターネ」は、インターネットの略

児童	活動内容・テーマ	主な活動場所	児童	活動内容・テーマ	主な活動場所
1	野球 変化球について	運動場	20	料理 (ワッフルづくり)	家庭科室
2	ニュース新聞の作り方	PA インターネ	21	料理 (りんご飴大学イモ)	家庭科室
3	野球 球団について	教室	22	料理 (チョコレートづくり)	家庭科室
4	ポケモン	PA インターネ	23	マフラーづくり	図書室
5	野球 変化球について	運動場	24	料理 お菓子	家庭科室
6	野球 変化球について	運動場	25	料理 (たこ焼き等)	家庭科室
7	コンピュータゲームについて	PA インターネ	26	歴史調べ	PA インターネ
8	ポケモン	PA インターネ	27	草花調べ	理科室 外
9	アルテミアサリーナの飼育観察	図書室 理科室	28	料理 (クッキー)	家庭科室
10	野球 球団について	教室	29	踊りづくり	音楽室
11	ポケモン	PA インターネ	30	踊りづくり	音楽室
12	へびについて調べる	図書室	31	音楽 (モーツァルト, 曲, 楽器)	音楽室
13	ポケモン	PA インターネ	32	料理(クレープ, クッキー, チョコ)	家庭科室
14	ポケモン	PA インターネ	33	手芸 刺しゅうづくり	図書室
15	宇宙について	PA インターネ	34	料理 (フライドポテト)	家庭科室
16	野球の上達法	運動場	35	料理 (チョコレート)	家庭科室
17	ポケモン	PA インターネ	36	料理 (チョコレート)	家庭科室
18	まんが(こちら亀有公園前派出所)	教室	37	料理 (フライドポテト)	家庭科室
19	ポケモン	PA インターネ	38	料理 (チョコレート)	家庭科室

(5) 児童の計画表・ふりかえり表から

自分タイムを進めるにあたって
5年2組 名前()

- 活動内容・テーマ(どんな活動してみたいですか?)
プロ野球関連の自由調べ(おもにカブ)
- 活動の動機(なぜ、その活動にしたり、そのテーマを選んだりしたのですか?)
プロ野球のことに興味があるから
- 活動の方法と場所(どんな方法で、どの場所で、活動を深めていますか?)
おもに教室を中心にできればコンピュータルームを使う
- まとめ方・表現方法(活動の結果をどんな方法で友達に伝えたいですか?)
紙(ノート)などに調べたことを書いてパソコンで印刷したものをはりつけてまとめる方法

時間をかけて自分の思いやおもしろいをはっきりさせていきましょう。
しっかりねねばねるほど、活動してよかったと思えるようになるよ

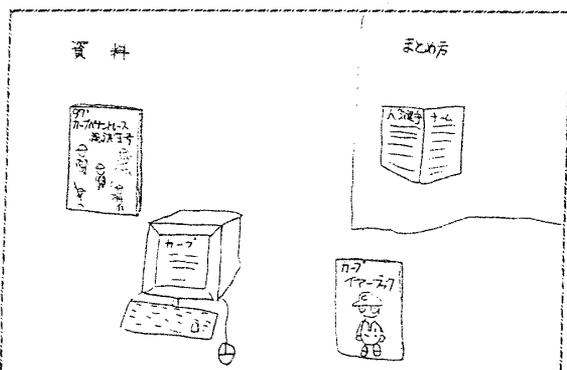


自分タイム計画表
5年2組 名前()

活動内容
テーマ プロ野球関連の調べ学習

活動期間	活動日	活動の流れ	具体的な活動内容・方法	活動場所	担任/副担任
①	11月7日(5)	オリエンテーション	活動内容・テーマを決める。活動方法・まとめ方を考える。全体計画を立てる。	東登ホール	加藤先生 松田先生
②	11月11日(5)	自由調べ	本を調べたり、インターネットで調べたりする。	教室	小林先生
③	11月11日(6)	自由製作	調べたことをまとめる。	教室	小林先生
④	11月15日(1)	自由活動	調べたり、体験する。	コンピュータルーム	
⑤	11月15日(2)		調べる、体験する、つくる、表現する	教室	
⑥	11月15日(3)		〇毎時間自分の活動を振り返り、次の時間のめあてをつくる	教室	
⑦	11月29日(1)		〇計画を詳しくしたり、修正したりする	教室	
⑧	12月20日(1)		〇活動のまとめ方を考える	教室	
⑨	2月7日		〇発表方法を考える	教室	
⑩			発表方法を決める	教室	
⑪			発表方法を決める	教室	
⑫			発表方法を決める	教室	
⑬			発表方法を決める	教室	
⑭			発表方法を決める	教室	
⑮			発表方法を決める	教室	
⑯			発表方法を決める	教室	
⑰			発表方法を決める	教室	
⑱			発表方法を決める	教室	
⑲			発表方法を決める	教室	
⑳			発表方法を決める	教室	
㉑			発表方法を決める	教室	
㉒			発表方法を決める	教室	
㉓			発表方法を決める	教室	
㉔			発表方法を決める	教室	
㉕			発表方法を決める	教室	
㉖			発表方法を決める	教室	
㉗			発表方法を決める	教室	
㉘			発表方法を決める	教室	
㉙			発表方法を決める	教室	
㉚			発表方法を決める	教室	
㉛			発表方法を決める	教室	
㉜			発表方法を決める	教室	
㉝			発表方法を決める	教室	
㉞			発表方法を決める	教室	
㉟			発表方法を決める	教室	
㊱			発表方法を決める	教室	
㊲			発表方法を決める	教室	
㊳			発表方法を決める	教室	
㊴			発表方法を決める	教室	
㊵			発表方法を決める	教室	
㊶			発表方法を決める	教室	
㊷			発表方法を決める	教室	
㊸			発表方法を決める	教室	
㊹			発表方法を決める	教室	
㊺			発表方法を決める	教室	
㊻			発表方法を決める	教室	
㊼			発表方法を決める	教室	
㊽			発表方法を決める	教室	
㊾			発表方法を決める	教室	
㊿			発表方法を決める	教室	

自分タイム カード 名前



ぼくは自分タイムでプロ野球(主にカブ)などの事を調べています。資料やコンピュータを使ってそれをノートにまとめていきます。

野球選手以外の方で人気の選手はたかたかという事なども調べています。

この総合的学習は自分のやり方から進めます。

自分タイム振り返り表
5年2組 名前()

活動内容
テーマ プロ野球関連の自由調べ

活動期間	活動日	実際の活動内容	ふりかえりと次のめあて	活動場所	担任/副担任
①	11月7日(5)	活動内容・テーマの決定 活動方法・場所を考える 全体計画を立てる	よくできた	東登ホール	加藤先生 松田先生
②	11月11日(5)	資料を元にノートに書いてみた	すいすいできてよかった	教室	
③	11月11日(6)			教室	
④	11月15日(1)		みんなの意見が	教室	
⑤	11月15日(2)	コンピュータを使って調べ		教室	
⑥	11月15日(3)	資料を元に書いた		教室	
⑦	11月29日(1)	資料を元にまとめてみた	短い時間で、たかたか思ったより進んだ!	教室	
⑧	12月20日(1)	資料を元にまとめてみた	短い時間でも集めてきた	教室	
⑨	12月20日(1)			教室	
⑩	2月7日	資料を元にまとめてみた	よく進んだ	教室	
⑪		よくできた	思ったより進んだ	教室	
⑫		発表方法を決める		教室	

自分タイムを進めるにあたって
5年 2組 名前()

- 1 活動内容・テーマ (どんな活動してみたいですか?)
音楽について調べてみたいです
- 2 活動の動機 (なぜ、その活動にしたり、そのテーマを選んだりしたのですか?)
私は、なんともなく興味があるからです。きれいな音だからです。
- 3 活動の方法と場所 (どんな方法で、どの場所、で活動を進めていますか?)
ノートやファイルに調べて行く。先生の話を聞いてみたいので、調べたものは本で調べたり、動画をみたり、インターネットで調べ、実際にやってみることで、教室、図書室、音楽室、コンピュータールームなどでやってみようと思います。
- 4 まとめ方・表現方法 (活動の結果をどんな方法で友達に伝えたいですか?)
ノートやファイルに調べたこと、やってみたこと、感想などをまとめてみたいと思います。

時間をかけて自分の願いやおもいをばっちりさせていきましょう。しっかりねればねほど、活動してよかったと思えるようになるよ



自分タイム振り返り表

5年 2組 名前()

活動内容 テーマ 音楽について

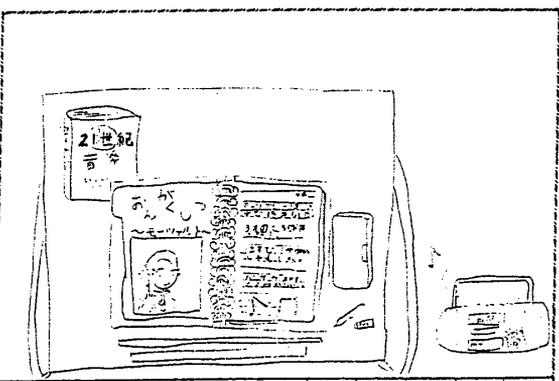
日	時間	実際の活動内容	ふりかえりと次のめあて	講師	副講師
①	11月7日(5)	活動内容・テーマの決定 活動方法・場所を考える 全体計画を立てる		東雲 ホール	加藤 松田先生
②	11月11日(5)	モーツァルトの録音 モーツァルトのワルツ時代へ	最初たのびたことはいはあ、元々おもしろいけど、通じにくいので、今更のようにならなう。	音楽室	松田先生
③	11月11日(6)	調べ		音楽室	松田先生
④	11月15日(1)	歌詞調べ	自分は何を調べたいのか、あまりよく分からないので、なんとなく調べてきました。	音楽室	松田先生
⑤	11月15日(2)	楽器を調べる	今回はまだまとめる方法を考えたいです。	音楽室	松田先生
⑥	11月15日(3)	まとめ		音楽室	松田先生
⑦	11月29日(1)	トランプをもらって みんなで遊ぶ。		音楽室	松田先生
⑧	12月6日(1)				
⑨	12月20日(1)				
⑩	入れこめ	パソコンでしりとりを あそぶ	おもしろいしりとりがあるので、まじやわたりました。		
⑪					
⑫		発表大会 (展示会)			

自分タイム計画表

5年 2組 名前()

活動内容 テーマ 音楽について

自分タイムカード 名前



私はこの「自分タイム」で「モーツァルト」を調べています。資料の先生も本とかCDとかたくさんある物を借していただいています。

自分タイムは、ふつ々の授業とは全く違って、自分のやりかた、どこかできるの、楽しい、自然にやる気が出てくるような気がします。

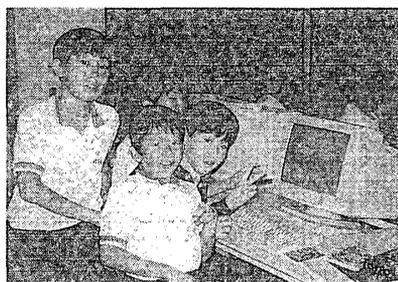
これからがんばって、また自分タイムをやっていきます。

日	時間	活動の流れ	具体的な活動内容・方法	活動場所	副講師
①	11月7日(5)	オリエンテーション	活動内容・テーマを決める。活動方法・まとめ方を考える。全体計画を立てる。	東雲 ホール	加藤 松田先生
②	11月11日(5)	自由調べ	ファイルにこれからの見通しを書く。本や資料を集めてまとめいく。	図書室	松田先生
③	11月11日(6)	自由製作	④ファイル、資料、本(音楽)楽器を使う。感想を書きいく。	音楽室	松田先生
④	11月15日(1)	調べる	本や資料をまとめて書いていく。	図書室	
⑤	11月15日(2)	体験する	楽器を弾いて、自分も楽器がなれるようにやってみる。	音楽室	松田先生
⑥	11月15日(3)	表現する	まとめたものを発表する。	音楽室	松田先生
⑦	11月29日(1)	○毎時間自分の活動を振り返り、次の時間のめあてをつくる	2時間目のことについて話せること書いていく。	音楽室	松田先生
⑧	11月29日(1)	○計画を詳しくしたり、修正したりする	今のまとめたものに、付けたものを付け加えていく。	音楽室	松田先生
⑨	12月6日(1)	○計画を詳しくしたり、修正したりする	いよいよ発表の準備がすすむ。調べたものをファイルする。	図書室	松田先生
⑩	12月20日(1)	○活動のまとめ方を考える	本や資料で調べたもの。	図書室	松田先生
⑪		○発表方法を考える	調べてまとめる。	図書室	松田先生
⑫			まとめる。	図書室	松田先生
⑬		発表大会 (展示会)			

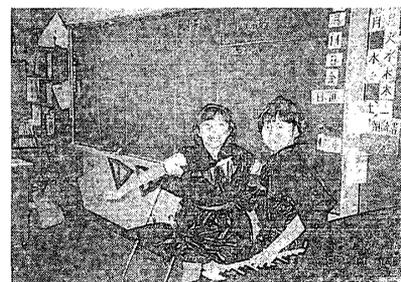
(6) 活動の様子



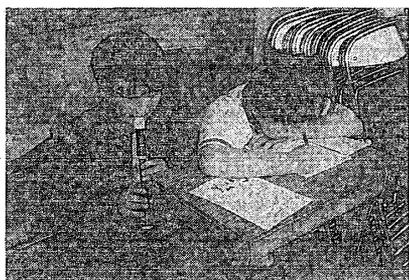
料理（お菓子づくり）



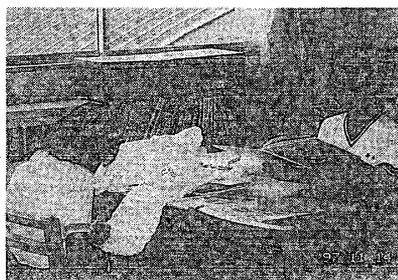
インターネットで調べる活動



踊りづくり（エレクトーン=使用）



マンガ「はに太郎」の歌の表現



マフラーづくり



刺しゅう

3 成果と課題

子ども達は「自分タイム」の学習に、生き生きと取り組んでおり、「この活動が大好き」、という答えが返ってくる。また、事前に、こちらから求めなくても、自分たちで準備したり、専科教官に打ち合わせに行ったりしている。

課題づくり（課題見つけ）については、予想どおり、はじめ戸惑う子どもが数名いた。できそうにもない課題を作るということはなかったが、教科の枠の中で、あるいはコンピュータの使用の範囲で、課題を考えようとする傾向がかなりあった。自分のしたいことを見つけるのに、何もないところから考え出すということに抵抗があるのだろう。今まで、ゼロから発想するという経験があまりないためではないかと考えられる。低学年から、課題づくり（課題見つけ）の経験の積み重ねが必要であろう。課題が見つけにくい子は、仲良しの友だちと同じ課題に偏ってしまいやすいので、「自分にとってそれが本当にしたいことなのか」と個別に言葉かけをしたり、その子らしさが発揮されているところを評価したりしていく必要がある。

支援体制として学級担任は子ども達の計画表、ふりかえり表の記述から個々の実態を把握し、一覧表にし、支援のポイントを明らかにしようとした。その一覧表や個々の実態を各専科担任へとつなげるパイプを持つようにした。しかし、なお一層の連携が必要である。

4 終わりに

「その活動がなんになるのか、何の役に立つのか、何の力がつくのか」という短いスパンでのものとのとらえ方から長いスパンでのとらえ方への転換が総合的な学習を考えるときには必要であろう。

まだまだ、スタートしたばかりの総合的な学習「自分タイム」ではあるが、総合的な学習は目的、内容、方法、評価は、生活科あるいは図画工作科の造形遊びの理念に、そのノウハウを求めていきたいと考えている。